

会 議 結 果

会議名	令和6年度第2回西尾市食育推進会議
日 時	令和7年3月6日（木）午後1時30分～午後3時
場 所	市役所22会議室
出席者	委員：上原正子、山本幸子、小島周平、黒部綾子、中村星児、齋藤英二、太田知宏、岡田明美、新家弘美、華尾英幸、鈴木健太、都築貴弘、田代幸子、石川まゆみ 関係課：平野美香、笹谷智子、近藤健太郎、長谷川奈津子、山下桂、下野坊由香里、新實康子、青山千里 事務局：小笠原敬、左右田明、酒井洋子、村松ありさ
傍聴者	4人
議 題	1 令和6年度事業実績について 2 正しく箸を持てる児童調査及び農林漁業体験学習の取組状況調査結果について 3 その他
結果等	

1 令和6年度事業実績について

（1） 令和6年度食育推進関係事業実績について事務局より説明した。

（2） 委員より質問・意見を受け、事業担当課および事務局が回答・説明した。

委員からの意見 食べ残しに対する指導について、給食時間が短いため食べることが難しいのではないかな。

担当課の回答 給食センターから給食が学校に届く時間や、食器を回収する時間が決められている中で、低学年は早めに準備を開始するなどして少しでも多く時間がとれるように工夫をしている。

委員からの意見 箸の持ち方を正す機会として、親子給食を活用したらどうか。

担当課の回答 親子給食は限られた時間の中で、栄養教諭が栄養バランスの大切さについて伝える機会として実施している。

委員からの意見 学校だけでなく、家庭でも箸の持ち方の指導を行えるように、資料やおたよりがあるとよい。

委員からの意見 市として全体のまちづくりとして食育を位置づけていけるとよい。

2 正しく箸を持てる児童調査及び農林漁業体験学習の取組状況調査結果について

調査結果を事務局より説明した。

〔意見〕

・ 箸の持ち方の調査は、学校に依頼する際になぜこのような調査を行うか伝えることで、正しく箸を持てる児童を増やすという目的を先生が意識しながら調査をできるようにしてほしい。箸の持ち方の大切さを子どもたちに伝えてほしい。

・ まちなかにある小学校では農林漁業体験学習を行うのは難しい部分もある。地域の田や畑を探し、市民農園と連携し、子供たちが野菜や土に触れる機会を作ってほしい。

3 その他

次回会議は、令和7年6月17日（火）を予定していることを報告した。

【総括】

様々な家庭がある中で、食べ物というのはすべての人に関わるものであるため、誰一人取り残さない食という事を考えていくことが大事である。それを考えていくのがこの会議である。持続可能な社会ということが言われているように、みんなで知恵を出しながら進めていかなければならない。第4次西尾市食育推進計画は令和8年度を一つの目標年度としており、来年度は令和7年度になるため、目標が達成できてきているかを意識しながら、事業を進めてほしい。